

# ワクチン接種

## 就学児向け



ワクチンは、深刻な病気から子どもたちを守るために極めて重要なものです。カリフォルニア州では、就学前や保育園開始前に、新入生、転校生に関わらず、全ての子どもは、保護者からの完全な予防接種記録が必要です。全ての予防接種を完了することで子どもたちは自分たちだけでなく、クラスメートや先生たちの健康や安全も守ることができます。

これらのワクチンは何十年にもわたり、麻疹、おたふく風邪、水ぼうそうなどの小児疾患の予防に安全に使用されており、学校や家庭内での感染拡大を抑制することができます。ワクチンを全く接種していない場合に比べ、お子様に確実に予防効果があるよう徹底的に検査もされています。

最大限の予防効果を得るためには、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチンなど、お子様を病気から守ってくれる、受けるべき予防注射を全て受けておく必要があります。

### 私の子共に必要なワクチンは？

トランジショナルキンダーガーテン・幼稚園児から12年生まで:

- ◆ **DTaPワクチン:** 特に乳児に危険なジフテリア、破傷風、百日咳を予防するために、7歳未満の子供は、複数回の接種を受ける必要があります。
- ◆ **B型肝炎ワクチン:** 2回または3回に分けて接種するワクチンで、B型肝炎ウイルスが引き起こす癌や肝臓病を予防するために全ての人に推奨されています。
- ◆ **ポリオワクチン:** このワクチンは永久的な小児麻痺を引き起こすこの深刻な病気から子どもたちを守るのに効果的です。
- ◆ **MMRワクチン:** 感染力が非常に高い、麻疹、おたふく風邪、風疹（ドイツ麻疹）に対して最大限の予防効果を得るために、接種を2回受けましょう。
- ◆ **水痘（水ぼうそう）ワクチン:** 痒みを伴う水疱のような発疹を引き起こす、非常に感染力の高いこの病気を予防するために、子どもたちに2回の接種が行われます。
- ◆ **インフルエンザワクチン:** インフルエンザにかかるリスクを減少させるために、特に秋ごろにこのワクチンを毎年1回受けてください。



COUNTY OF LOS ANGELES  
**Public Health**

# ワクチン接種

## 就学児向け



- ◆ **新型コロナワクチン:** このワクチンは、新たに発生する変異株に対応するために、随時改良されます。改良型の新型コロナワクチンを少なくとも1回接種することが、生後6ヶ月以上のすべての人に推奨されています。
- ◆ **Tdapワクチン:** 破傷風、ジフテリア、百日咳を予防するために年上の子どもは1回接種する必要があり、7年生になる生徒には義務付けられています。

学校に必要なワクチンについては、お住まいの学区にご確認ください。年齢別およびトランジショナルキンダーガーデン、幼稚園生から12年生（TK/K-12th）に必要なワクチンの全リストは、こちらをご覧ください。 [shotsforschool.org](https://shotsforschool.org)

**RSウイルスが引き起こす重篤な呼吸器疾患から乳幼児を守る方法を医師にご相談ください。**

### ワクチン接種を受けるには？

- ◆ 小児科医に新学期や毎年行われている予防接種についてお尋ねください。
- ◆ かかりつけ医がない場合は、<http://publichealth.lacounty.gov/vaccines> にアクセスし、低価格または無料でサービスを提供しているワクチンクリニックのリストやワクチンに関する詳細情報をご覧ください。
- ◆ ほとんどのワクチンは同時に接種することができます！そうすることでお子様が不快な思いをするのを短時間で済ませることができ、保護者の方も節約した時間を他の活動に費やすことができます。



#### 公衆衛生コールセンター

詳細情報は、公衆衛生コールセンターまでお問い合わせください。

**1-833-540-0473**（年中無休、受付は午前8時から午後8時まで）



Los Angeles County Department of Public Health

[ph.lacounty.gov/vaccines](https://ph.lacounty.gov/vaccines)

Vaccines For School-Aged Children 10/20/23 (Japanese)



COUNTY OF LOS ANGELES  
**Public Health**